

第183回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ（教区テーマ）

まなこ
『眼をひらく』
こころ
『心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

期 日 2019年9月20日（金）午後6時半～8時半
講 師 鍋島 直樹（なべしま なおき）氏（龍谷大学教授）
講 題 「親鸞聖人における愛別離苦への姿勢」

講師紹介 兵庫県出身、龍谷大学文学部真宗学科教授、龍谷大学大学院実践真宗学研究科長、臨床宗教師研修主任、日本医師会生命倫理懇談会委員、浄土真宗僧侶

著 書 『人生に絶望なし 中村久子女史と歎異抄』方丈堂出版、1944 円。
『死別の悲しみと生きる』本願寺出版社、108 円。
『アジャセ王の救い 王舎城悲劇の深層』方丈堂出版、1749 円

先生からのメッセージ

大切な人との別れは、身を切られるようにつらいことです。時を経ても悲しみはますます深まるばかりで、どうかあの時まで時間が戻ってほしいと心の中で叫ぶこともしばしばです。

「愛別離苦はあらゆる苦しみの根本である。愛が深ければ深いほど、より一層憂いも深くなる」と『涅槃経』に説かれています。私たちは別れの後で、はじめて愛の尊さに気づきます。それでは、死別による悲しみを私たちはどのように受けとめたらよいのでしょうか。親鸞聖人のみ教えを共に学びたいと思います。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」、お電話ください。Tel.058-265-0033

MEMO

次回 第184回 仏教公開講座 ご案内

期 日 2019年10月20日（日）午後2時～4時

講 師 マイケル・コンウェイ氏（大谷大学講師）

講 題 「生きづらさと目覚め 一念仏に開かれる朗らかな世界」

講師紹介 1976年アメリカ合衆国イリノイ州生まれ。1997年ノースウェスタン大学卒業（歴史学専攻）。2003年大谷大学大学院修士課程（真宗学専攻）入学。2005年大谷大学大学院修士課程修了。2006年大谷大学大学院博士後期課程（真宗学専攻）入学。2009年大谷大学大学院博士後期課程満期退学。2009年大谷大学文学部任期制助教着任（2011年まで）。2011年博士号取得、東方仏教徒協会（The Eastern Buddhist Society）編集者着任（2015年まで）。

現在、大谷大学文学部専任講師（真宗学）。

著 書 『信の源泉を尋ねて』（響流書房）

メッセージ 私たちが生きていく中で、嫌なこと、やりたくないこと、困難なことに日々出会います。仏教はそれらのことを苦として受けとめる心が真理に目覚めることによって転換すると説きます。皆さまとともに念仏がもたらす目覚めが、どのように私たちが感じている生きづらさを解消するのかについて考えていきたいです。